

SHALL WE PORT? Vol. II (2012.1)

～国際交流・国際理解への旅～



CONTENTS

■特集

- 国際交流ボランティアをはじめよう。
- 通訳・翻訳ボランティア
- アースサポーター
- ホストファミリー
- 災害多言語支援ボランティア
- ホームステイ体験レポート

■NIAインフォメーション

- 留学生就職支援セミナー、多文化共生セミナー、国際理解教育プレゼンテーションコンテストほか

発行元 / 財団法人新潟県国際交流協会 Niigata International Association



国際交流ボランティアをはじめよう。

(財)新潟県国際交流協会では、県内の国際交流を推進し、県民と在住外国人の相互理解・交流を深めるために、国際交流・協力に関するボランティア活動にご協力いただいています。新潟県を訪れる外国人との架け橋となる「通訳・翻訳ボランティア」、県民への国際理解を広げるためのお手伝いをさせていただく「アースサポーター」、万が一の災害時に外国人を支援する「災害多言語支援ボランティア」、そして家族ぐるみで国際交流できる「ホストファミリー」など、当協会を通じて参加できる様々なボランティア活動をご紹介します。あなたにも参加できるボランティア活動がきっと見つかります。



黒龍江省レスリング選手と和やかに中国語で会話するボランティア通訳のオヨンゲルさん。

通訳・翻訳ボランティア

語学力★★★★

国際貢献度★★★★

依頼頻度★★★★

国際的な歓迎行事や交流行事などでの通訳、簡単な案内文書やパンフレットなどの翻訳をお願いしています。

通訳・翻訳ボランティアの方々には、県内で開催される様々な行事やイベントにいらっしゃる外国人へのご案内や、パンフレットなどの簡単な翻訳作業をお願いしています。

また、通訳・翻訳ボランティア登録者や登録予定の方を対象としたボランティアセミナーも開催。スキルアップを目指すボランティアの方のためのバックアップ体制も整えています。

去る平成23年9月、新潟県と友好提携を結んでいる中国黒龍江省から11名のレスリング選手団が来県し、新潟県中央工業高等学校を会場に合同練習会や親善試合を行いました。合同練習の合間の9月8日には歓迎セレモニーと交流会が同校を会場に開催され、当協会に登録している通訳ボランティア2名が派遣されました。通訳ボランティアは交流会での柔道部や弓道部などの紹介、在校生との腕相撲大会やクイズ大会の中国語通訳を担当。日本独特のスポーツも身ぶり手ぶりを交えながら見事に通訳していただき、選手団と生徒達の国際交流の橋渡し役を果たしていただきました。



韓国語ボランティアセミナー。講義に続き、通訳訓練、交流会が行われ、講師の先生から勉強法に関するアドバイスなどもいただきました。



平成23年10月に開催された「新潟国際ビジネスメッセ」でも通訳ボランティアが派遣され、受付や、各ブースでの外国人来場者対応を担当しました。



平成23年度 県協会 通訳・翻訳ボランティア登録数 (平成23年12月5日現在)	
英語	103名
中国語	22名
韓国語	22名
ロシア語	8名
ポルトガル語	4名
その他	21名

条件

- 年齢：18歳以上
- 語学力：日常会話の通訳、専門知識を要しない文書の翻訳が支障なくできる方

平成23年度 活動状況

- 外国籍住民のための医療相談会
- 白根大風合戦
- 少年軟式野球 海外チーム招待・親善交流試合
- 韓国ウルサン市訪問団歓迎夕食会
- アースセレブレーション など

通訳・翻訳ボランティアの登録方法は2面をご覧ください。【中面へ特集が続きます。】

アースサポーター 語学力☆☆☆ 国際理解度★★★★ 依頼頻度★★★★

国際交流・協力事業に関するイベント等の企画・運営の補助業務をお願いしています。

国際交流イベントやセミナー等の運営サポートをお願いするアースサポーター。講座の受付業務や会場設営など、その内容は多岐にわたりますが、県民参加の幅広い国際交流の心強い応援団として活躍しています。

業務によってはセミナーを聴講できる場合もあり、国際理解を深めるよいきっかけにもなります。国際交流事業に興味をお持ちの方にはぜひご登録いただきたいボランティアです。



プレゼンテーションコンテストの運営補助を担当したアースサポーター。

条件

- 年齢：18歳以上
- 語学力：不問
- その他：国際交流・国際協力に関するイベント等の企画・運営に興味や熱意のある方

平成23年度 活動状況

- 留学生就職支援セミナー
- 多文化共生セミナー
- 国際理解講座
- 国際理解教育プレゼンテーションコンテスト など

平成23年12月17日、県内の中学生・高校生による「国際理解教育プレゼンテーションコンテスト」が開催されました。出場者、一般見学者、審査委員等併せて約200名規模のコンテストとなり、運営補助として5名のアースサポーターが参加しました。出場チームそれぞれのステージセッティングや会場設営、来場者受付、タイムキーパー等の業務を協会スタッフと協力して行いました。

参加したアースサポーターからは「ボランティアの合間に学生の発表を聞いて、刺激を受けました」「楽しく懸命に活動することができ、出場者の様子などから非常に多くのことを学ばせてもらいました」といった感想が聞かれました。



通訳・翻訳ボランティア、アースサポーターに登録しませんか？

◎登録方法

- 協会ホームページから登録票をダウンロードし、必要事項を記入の上、当協会へ提出してください。

◎活動の流れ

- ①通訳・翻訳の依頼がある都度、当協会が内容及び条件等を登録者にお知らせします。
- ②活動を希望する登録者は、当協会へ申し出てください。
(希望者多数の場合は、依頼条件などを考慮し、選考します。)
- ③活動を行う方は、活動の詳細を依頼者と打合せます。
- ④活動終了後に、報告書(様式指定)を当協会へ提出してください。

◎その他

- 原則として無報酬でボランティア活動をしていただけます。
- 原則として2年に1回、全登録者を対象とした更新確認を行います。



ホストファミリー 語学力★☆☆ 国際貢献度★★★★ 依頼頻度★☆☆

新潟に滞在する外国人をご自宅に招くホストファミリー。当協会ではALT、留学生を受け入れていただく体験事業を行っています。

家族ぐるみで国際交流に参加できるホストファミリー。外国人にとっても、受入家庭にとっても身近に異文化交流できる、国際貢献度の高いボランティアです。ホストファミリーは必ずしも外国語が堪能である必要はありません

し、過度なおもてなしの必要もありません。必要なのは外国人を自分たちの家族の一員として受け入れていただく温かい心と、受け入れた外国人が眠る小さなスペース。とはいっても見ず知らずの外国人を自宅に招き入れることには不安がつきものです。当協会では、ホストファミリーに興味をお持ちの方向けに「ホストファミリー講座」を、毎年夏から秋に行っています。講座ではホストファミリーの考え方や心構え、疑問や不安の解消などを目的に、講師をお招きしてお話をうかがい、終了後には県内在住の外国人との交流会を行っています。講座を受講して、まずはホストファミリーを体験してみたいという方には、ALT(外国語指導助手)や留学生を受け入れていただく1泊2日のホームステイ体験も実施しています。



昨夏、新潟市と長岡市で開催した講座には家族での参加者も立ちました。

条件

- 年齢/語学力：不問
- その他：家族全員が趣旨に賛同していること
単身者の家庭、及びそれに近い家庭は除く

※現在当協会でのホストファミリー登録は行っておりません。平成24年度の講座は、詳細が決まり次第ホームページなどでお知らせします。



災害多言語支援ボランティア 語学力★★★★ 国際貢献度★★★★ 緊急度★★★★

地震などの災害時に外国人を支援するボランティア。今最も必要とされるボランティアのひとつです。

多文化共生社会を推進する上での最重要課題の一つとなっているのが、災害時の外国人支援です。国内で甚大な被害と犠牲者を出した昨年3月11日の東日本大震災では、多くの外国人も被災しました。日本語でのコミュニケーションが困難であったり、災害についての知識が少ない外国人にとって、災害時のサポートは必要不可欠です。

当協会では、災害発生時に外国人支援を行う「災害多言語支援ボランティア」を育成しています。災害時に日本語情報を外国語に通訳・翻訳したり、やさしい日本語にして情報提供を行うほか、被災地の多言語支援センターや避難所において、在住外国人等への支援活動に従事していただきます。また、外国人支援活動ができる人材を育成する研修では、ボランティアとして活動していくために必要な知識や心構え、外国人への対応の仕方や情報提供の方法などの講義と共に、行政職員や避難住民役の外国人を交え、避難所を想定した実地訓練等を実施しています。



模擬訓練を行いました。5~6人の班に分かれたスタッフは避難所を巡回し、「在留期限が切れそうだ」「パスポートを焼失した」「自宅に張り紙があるが意味が分からない」等、様々な不安や悩み、疑問を抱く外国人に対応しました。参加したボランティアからは「考えているよりも実際は難しいことが分かった」「チームワークの大切さを学んだ」等の感想が寄せられました。

平成23年11月26日、新潟市で「災害多言語支援ボランティア育成研修」が行われました。避難所巡回の状況や外国人対応の留意点、心構え等の講義、避難所で使用する多言語表示シートの作成等のグループワークのほか、マグニチュード6.8の地震が発生したことを想定し、行政職員、ボランティア通訳、避難住民役の在住外国人を交えた

条件

- 年齢：18歳以上
- 語学力：外国語での日常会話の通訳又は専門知識を要しない文書の翻訳が支障なくできること。
- その他：災害時の被災地支援、外国人支援に理解と熱意を有する個人



「災害多言語支援ボランティア育成研修」では、模擬訓練の前に講義が行われ、災害時に外国人を支援するために必要な知識を学びました。



「災害時多言語支援センター」での訓練。避難所だけでなくセンターにも外国人被災者から様々な相談が持ち込まれました。

身近な国際交流ボランティア ホームステイ体験レポート

11月12日13日、ホストファミリーに興味がある方を対象に1泊2日のホームステイ体験を行いました。今回この体験に参加した十日町市の入田義雄さんと、新潟市の小田タさんの感想をご紹介します。

十日町市
入田義雄さん
(67)

我が家は私、妻、長男夫婦、孫娘の五大家族。家族全員で国際交流ができたことは意義がありました。特に5歳の孫娘がアリソンさんと折り紙やゲームなどを楽しんでおり、大人よりも一番すんなりと接している姿が印象的でした。



やはり言葉の壁は感じましたが、長男の嫁とはケーキなどスイーツの作り方、味わい方の話、妻とは山菜や野菜料理の話題で盛り上がっていました。その他、アリソンさんには代表的な地場産業である着物文化の体験や、日本そば、コシヒカリおにぎりなどの食文化を体験していただき、有意義な二日間を過ごしました。



今回の発案者は私自身でしたが、家族全員の協力がなくてできない活動だなと思いました。

新潟市
小田タさん
(8)

わたしは、ナターシャさんといっしょに遊んで楽しかったことが二つあります。一つ目は、バドミントンです。ナターシャさんはバドミントンができて、わたしはまだ練習中だったので、あまり上手にできなかったけど、ナターシャさんとやっているうちにだんだん上手にできるようになりました。二つ目はエアホッケーです。一回目はわたしがどんどん点を入れてかちましたが、二回目はナターシャさんも点を入れました。ナターシャさんとたくさん遊ぶことができずごくうれしかったです。



ほかにも、ときメッセや、やひろ神社に行ったり、いっしょにおこのみやきも作って食べました。とても楽しかったので、またナターシャさんに会いたいです。

NIA インフォメーション ～(財)新潟県国際交流協会の活動報告とお知らせ～

「留学生就職支援セミナー」を開催しました

グローバル化経済の流れの中、新潟県内でも国際的な人材が求められています。平成23年10月8日、県内在住の留学生を対象とした「留学生就職支援セミナー」を2部形式で開催し、留学生31名、企業・学校関係者20名が参加しました。第1部では㈱ディスコのキャリアコンサルタント田口香織氏を講師に迎え、日本企業における留学生の採用状況の説明や就職試験への準備などに関する講義を行いました。第2部で

は留学生、企業関係者、大学関係者を変えた意見交換、質疑応答を行いました。参加した留学生からは「日本語会話能力、英語力の大切さが分かった」「第2部の意見交換が大変ためになった」などの意見が寄せられました。一方企業関係者からも「日本人と留学生の価値観の違いが見え、大変参考になった」「留学生は将来への明確なビジョンを持っている点で優れている」などの感想が寄せられました。



「多文化共生セミナー」を開催しました



文化や習慣が異なる人々が互いに認め合い、誰もが住んで良かったと実感できる多文化共生社会を目指して行われてきた行政、NPO、ボランティア等の取組みを振り返り、これからの外国人支援を考える「多文化共生セミナー」を平成23年12月4日に朱鷺メッセで開催しました。前半は阿波村稔新潟大学国際センター長・教授を講師に、「多文化共生の地域づくり」をテーマとした全体

研修を開催。後半は、「日本語教室」「日本語が母語でない子どもの学習支援」「外国人関連相談事業」の3つの専門分野に分かれ分科会を行いました。分科会後の全体会議では、「外国人支援ネットワークや一元的なインフォメーションセンターが不足している」「当事者(在住外国人)の意見を吸い上げる場が必要」など活発な意見交換が行われました。

平成23年度国際理解教育プレゼンテーションコンテスト結果発表!

平成23年12月17日に朱鷺メッセ中会議室にて、当協会と新潟県国際理解教育推進協議会主催の「国際理解教育プレゼンテーションコンテスト」を開催しました。

今年度は中学生部門10チーム、高校生部門9チームが出場し、過去最多出場となりました。最優秀賞を受賞した2チームは3月下旬に韓国スタディツアーに派遣されます。

入賞チーム

中学生部門

- 最優秀賞/新潟市立早通中学校
- 優秀賞/阿賀野市立水原中学校
I3(小千谷市立小千谷中学校)
- 特別賞/ラポU14(新潟市)

高校生部門

- 最優秀賞/NGK48(国立長岡工業高等専門学校)
- 優秀賞/Brave Japan(県立新潟高等学校)
AYOBA(長岡市)
- 特別賞/チームヨリカ(県立新潟商業高等学校)



お知らせ 1

平成24年度 団体・個人賛助会員 募集

当協会では、国際協力・国際交流等協会事業を支える、団体と個人の賛助会員を募集しています。加入を希望される方は、当協会ホームページをご覧ください。下記までご連絡ください。

- 参加資格: 当協会の目的に賛同される個人または団体
- 会費: 個人会員1口 3,000円/年度(1口以上)
団体会員1口 10,000円/年度(1口以上)
- 募集期間: 通年
- 会員期間: 平成24年4月1日～平成25年3月31日

■個人会員の特典

- 県立美術館入館助成券の進呈
- 県内施設、レストラン等の割引利用
- 団体会員の特典
- 研修室の無料貸し出し
- 国際化推進活動助成金の利用
- 印刷機の利用

■個人・団体会員共通特典

- 当協会の刊行物の送付
- イベント案内チラシ等の送付
- イベント・セミナー等への優先参加
- 国旗、図書等の貸出
- パネルの展示

お知らせ 2

国際交流プラザで パネル展示をしませんか?

国際交流活動の推進のために、国際交流プラザ内に設置したパネルを貸し出します。イベントの告知や活動報告、写真の展示などに、幅広くご利用ください。

- 利用要件: 当協会の賛助会員で、国際交流活動を行う個人または民間団体等
- 展示サイズ: パネル1枚のサイズ[縦210cm×横120cm]2枚まで。片面・両面使用可能
- 利用期間: 1団体あたり1週間～1ヶ月まで
- 利用料: 無料(ただし展示に際しての費用は利用者の負担)



利用申込書を当協会ホームページからダウンロードし、必要事項を記入の上、郵送、FAXまたはメールで当協会へ送付してください。※詳しくは当協会HP「県協会からのお知らせ」をご覧ください。